

お互いさまのまちづくり
アニュアルレポート
2020

年次事業報告書

豊橋市お互いさまのまちづくり協議会



お互いさまのまちづくりアニュアルレポート2020について

このレポートは、「お互いさまのまちづくりアクションプラン～支え合い活動 50 団体創出に向けて～」に関し、お互いさまのまちづくり協議会を構成する関係団体等の令和2年度の取組状況を整理し、その評価等を行ったものです。協議会で情報共有をし、コレクティブインパクト（立場を超えて互いの強みを出し合うこと）実現のための基礎資料とするとともに、関係団体等におけるアクションプランの理解促進のための資料とします。

I 支え合い活動の状況

1 今年度立ち上がった活動

令和2年度は新たに2箇所の支え合い活動が誕生した。

No.	名称	校区	場所	備考
1	オアシス 笑顔	牟呂	デイサービス 寄りあい内	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年1月設立。 地元有志が中心となって結成。 まちの居場所活動。 地域包括支援センター真寿苑の立ち上げ支援により発足。
2	木曜会	大崎	大崎町民会館	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年3月設立。 地元有志が中心となって結成。 まちの居場所活動。 南部包括支援センターの立ち上げ支援により発足。

2 校区別の活動箇所数（協議会把握分）

お互いさまのまちづくり協議会が把握しているまちの居場所活動、助け合い活動などの支え合い活動は125団体（箇所）である。

校区名	支え合い			校区人口 (A)	65歳以上 人口 (B)	65歳以上 割合 (B/A)
	活動合計	居場所	助け合い			
岩田	10	9	1	16,051	4,094	25.5%
豊	1	1	0	7,390	2,149	29.1%
東田	5	5	0	8,641	2,632	30.5%
八町	10	10	0	3,473	1,124	32.4%
松葉	1	1	0	6,751	1,939	28.7%
花田	2	2	0	7,287	2,156	29.6%
松山	2	2	0	6,559	2,016	30.7%
新川	7	6	1	5,642	1,701	30.1%
羽根井	3	3	0	8,826	2,299	26.0%

校区名	支え合い			校区人口 (A)	65歳以上 人口 (B)	65歳以上 割合 (B/A)
	活動合計	居場所	助け合い			
下地	2	2	0	6,410	1,597	24.9%
大村	2	2	0	3,399	971	28.6%
津田	2	2	0	3,884	1,044	26.9%
牟呂	3	3	0	13,801	2,863	20.7%
汐田	2	2	0	8,240	1,431	17.4%
吉田方	5	5	0	17,544	3,449	19.7%
高師	3	2	1	12,733	3,476	27.3%
幸	1	1	0	16,587	4,263	25.7%
芦原	3	3	0	7,688	1,959	25.5%
福岡	1	1	0	13,090	3,282	25.1%
中野	1	1	0	8,146	1,953	24.0%
磯辺	4	4	0	10,751	2,524	23.5%
大崎	2	2	0	3,440	884	25.7%
野依	2	2	0	6,627	1,409	21.3%
植田	4	4	0	5,005	1,577	31.5%
牛川	3	2	1	9,400	2,198	23.4%
鷹丘	4	3	1	13,677	3,556	26.0%
下条	0	0	0	1,470	495	33.7%
多米	5	5	0	11,717	2,760	23.6%
岩西	1	1	0	9,320	2,366	25.4%
飯村	0	0	0	12,591	2,888	22.9%
つつじが丘	4	4	0	9,686	2,071	21.4%
旭	3	3	0	3,839	1,246	32.5%
栄	4	4	0	14,515	3,913	27.0%
天伯	2	1	1	5,229	1,332	25.5%
大清水	5	4	1	6,097	1,466	24.0%
富士見	2	2	0	6,725	1,954	29.1%
向山	2	2	0	7,022	2,217	31.6%
前芝	5	5	0	4,095	1,023	25.0%
西郷	0	0	0	2,238	767	34.3%
玉川	0	0	0	5,325	1,594	29.9%
嵩山	0	0	0	1,380	493	35.7%
石巻	1	1	0	2,808	910	32.4%

校区名	支え合い		校区人口 (A)	65歳以上 人口 (B)	65歳以上 割合 (B/A)	
	活動合計	居場所				助け合い
谷川	0	0	0	2,014	549	27.3%
小沢	1	1	0	2,339	720	30.8%
細谷	0	0	0	2,528	778	30.8%
二川	2	2	0	8,363	2,340	28.0%
二川南	0	0	0	9,793	2,284	23.3%
豊南	0	0	0	2,390	715	29.9%
高根	0	0	0	2,519	542	21.5%
老津	1	1	0	3,489	1,140	32.7%
杉山	1	1	0	4,248	936	22.0%
賀茂	1	1	0	1,320	433	32.8%
不明	0	0	0	29	4	-
計	125	118	7	374,131	96,482	25.8%

※人口は令和3年4月1日現在

Ⅱ アクションプラン取組状況

1 認知度向上プラン

(1) 自治連合会事業計画への位置づけ（自治連合会）

令和2年度の事業計画に「子どもから高齢者まで全ての人が支え合う地域づくりの推進」を掲げ、お互いさまのまちづくりについて自治会長への周知を図った。

(2) モデル民生委員児童委員協議会活動報告会に参加（市・民生委員）

開催日・場所：令和2年5月26日 豊橋市公会堂

参加者：550人

内容等：「モデル民協」の冊子（高齢者の見守り報告及び民児協活動の手引きの中で支え合い活動等について掲載）を配布した。

(3) 民生委員児童委員協議会地域福祉部会研修会（市・民生委員児童委員協議会）

開催日・場所：令和2年12月1日 ライフポート

参加者：136人

内容等：民生委員児童委員協議会の高齢者福祉部会に対し、お互いさまのまちづくりの必要性や事例を紹介する研修会を実施した。

(4) 老人クラブ連合会事業実施方針、重点目標への位置づけ（老人クラブ連合会）

内容等：令和2年度の重点目標にお互いさまのまちづくりを掲げ、引き続き老人クラブ会員への周知を図った。

(5) SNSを活用した企画情報の発信（社会福祉協議会）

内容等：SNS（LINE）を活用した企画情報の発信を行うことで、お互いさまのまちづくりにつながる情報をより広く周知した。

(6) シルバー人材センター実施計画への位置づけ（シルバー人材センター）

内容等：令和2年度の実施計画において、地域貢献意識の醸成として「お互いさまのまちづくり」というフレーズを盛り込んだ。

(7) 広域的地域ケア会議の開催（基幹型地域包括支援センター）

内容等：中央、東部、南部の3つの圏域ごとに、各包括支援センターが集まり、地域の課題を共有する「広域的地域ケア会議」を開催した。会議において、圏域内の支え合い活動の状況を小学校区ごと集約し、お互いさまのまちづくりの現状把握を詳細に行った。

(8) エフエム豊橋によるPR（市）

放送日：令和2年6月23日

内容等：エフエム豊橋にて、支え合い活動参加者保険について説明するとともに、支え合い活動の必要性について説明した。

(9) お互いさまのまちづくり及び支え合い活動団体の書籍への掲載（市、活動者）

内容等：実業之日本社が発行した「令和・アフターコロナの自治会・町内会運営ガイドブック」に、本市の取組みである「お互いさまのまちづくり」と、支え合い活動団体である「三本木お互いさまの会」が紹介され、お互いさまのまちづくりが広く周知された。

(10) 介護予防普及啓発期間における支え合い活動のPR（市）

期 間：令和2年11月

内容等：豊橋市中央図書館において介護予防普及啓発において、支え合い活動のパンフレットを配布物として設置し、支え合い活動について周知をした。

2 担い手創出プラン

(1) レクリエーションリーダー講座（社会福祉協議会）

開催日・場所：前期 令和2年9月～、後期 令和2年11月～（全6回）あいつピア

参加者：前後期合せて8人

内容等：高齢者を対象としたレクリエーション活動の理論と実技を学ぶ機会を設けた。

(2) 支え合い活動等支援講座①（社会福祉協議会）

開催日・場所：令和3年2月18日 あいつピア

参加者：65人

内容等：知っておきたい老化と免疫の話～新型コロナウイルスと高齢者の免疫機能～

(3) 支え合い活動等支援講座②（社会福祉協議会）

開催日・場所：令和3年3月4日 あいつピア

参加者：22人

内容等：今すぐ使える福祉レクリエーション

(4) ボランティアはじめの一步セミナー（社会福祉協議会）

開催日・場所：令和3年2月27日 あいつピア

参加者：14人

内容等：ボランティア団体の紹介や活動者との面談

(5) 市内の公園等で一斉清掃ボランティア活動を実施（シルバー人材センター）

開催日・場所：令和2年10月3日・豊橋公園他（市内8か所の公園）

参加者：290名

内容等：市内52校区に設置してある地域班を8ブロックに分け、公園や周辺道路でゴミ拾いを実施。会員同士顔の見える関係づくりを通して、つながりの強化や支え合い活動への意識の醸成を図った。

(6) 第1回支え合い活動者交流会（市・活動者）

開催日・場所：令和2年9月25日 豊橋市役所

参加者：40人

内容等：支え合い活動者団体「お互いさま広げ隊」と市の共催事業として、支え合い活動者が自ら企画運営して開催した。今回の交流会では、「まちの居場所」「助け合い活動」「多世代交流カフェ・認知症カフェ」の3ブースに分かれ、活動紹介及び意見交換を行った。また、各ブースごとに意見交換の内容を発表した。

(7) 生活・介護支援サポーター養成講座（市・生活支援コーディネーター）

開催日・場所：令和2年10月27日 豊橋生協会館

参加者：4人

内容等：ケアコープあいち福祉サービス豊橋南が実施する生活・介護支援サポーター養成講座において、生活支援コーディネーターを講師として、新たな担い手となりうる受講生に対し、支え合い活動の必要性、活動事例を紹介した。

(8) 生活・介護支援サポーター養成講座（市・活動者）

開催日・場所：令和2年10月13日 豊橋生協会館

参加者：10人

内容等：ケアコープあいち福祉サービス豊橋南が実施する生活・介護支援サポーター養成講座において、支え合い活動者を講師として、新たな担い手となりうる受講生に対し、支え合い活動の必要性、活動事例を紹介した。

(9) スキル向上及び知識習得のための会議・研修への参加

○生活支援コーディネーター

会議・研修名	会議・研修開催日
愛知県生活支援体制整備推進に係る助言者による講演	10/19、11/12
東三河生活支援コーディネーター連絡会	11/12
愛知県生活支援コーディネーターフォローアップ研修	書面開催
愛知県生活支援コーディネーターフォローアップ研修（意見交換会）	12/9
子どもの居場所づくりネットワーク会議	10/28
初めてのクラウドファンディング講座	12/15

○活動者

会議・研修名	会議・研修開催日
子ども居場所づくりネットワーク会議	10/13
子ども食堂支援者及び開設準備研修会	11/6
初めてのクラウドファンディング講座	12/15

○市

会議・研修名	会議・研修開催日
愛知県生活支援体制整備推進に係る助言者による講演	10/19、11/12
東三河生活支援コーディネーター連絡会	11/12
愛知県生活支援コーディネーターフォローアップ研修	書面開催
愛知県生活支援コーディネーターフォローアップ研修（意見交換会）	12/9
初めてのクラウドファンディング講座	12/15

3 立ち上げ応援プラン

(1) 支え合い活動ワークショップの開催（生活支援コーディネーター、支え合い活動者）

開催日・場所：第1回 令和2年12月8日 あいトピア

第2回 令和3年1月25日 豊橋市役所

参加者：第1回 14名、第2回 10名

内容等：支え合い活動団体の立ち上げを検討している方々に対し、立ち上げにあたっての相談や、意見交換を実施した。

(2) ボランティア活動保険の紹介（社会福祉協議会）

内容等：ボランティア活動中の万一の事故に備えるボランティア活動保険を引き続き運用し、周知を図った。

(3) 支え合い活動参加者保険の創設（市）

内容等：支え合い活動が取り組みやすい環境整備を目的とした、活動中の参加者の事故を補償する「支え合い活動参加者保険」を創設した。

(4) サロン活動への支援（老人クラブ連合会）

対象者：サロン活動団体 24団体

内容等：サロン活動を普及拡大するため、老人クラブ連合会としてサロン活動をする老人クラブに対して助成金を交付した。

(5) 地域包括支援センターによる立ち上げ支援

地域包括支援センター	内容
ふくろう	・「生き生きクラブ」の立ち上げに向けた相談に対応。
真寿苑	・「NPO ぽかぽか」において立ち上げに向けた相談に対応。 ・「より合い」の立ち上げに向けた相談に対応。
南部	・「植田校区」「大崎校区」「磯辺校区」にて支え合い活動立ち上げに向けた相談に対応。
作楽荘	・「こども食堂（仮）」の立ち上げに向けた相談に対応。
彩幸	・「富士見校区」において立ち上げに向けた相談に対応。

(6) 生活支援コーディネーターによる立ち上げ支援

・磯辺校区の相談に対応

4 活動安定化プラン

(1) 地域包括支援センターによる活動安定化支援

【東部地区】

地域包括支援センター	内容
東部	<ul style="list-style-type: none"> ・「きてみてつつじ」において月1回出前講座を実施（6月～）。 ・「なんじゃもんじゃ」において2回出前講座を実施。
さわらび	<ul style="list-style-type: none"> ・「金田住宅ふれあいサロン」（コロナ禍で休止中）に対し声かけ、包括だよりを配付。 ・「気軽に集う会」（コロナ禍で休止中）に対し声かけ。 ・「洗心会」において月1回出前講座を実施。 ・「北町お助け隊」の集まりに年2回参加。
赤岩荘	<ul style="list-style-type: none"> ・「花がら山」において年2回出前講座を実施。 ・「みんなの広場」において年6回出前講座を実施。 ・「多米西町サロン（仮称）」の集まりに年2回参加。 ・「東町サロン」において年2回出前講座を実施。 ・「鷹丘料理教室ウェルカム」の集まりに年1回参加。 ・「牛川住宅集いの会」において年1回出前講座を実施。 ・「若鷹はつらつ会」において年2回出前講座を実施。
ケアコープ 豊橋	<ul style="list-style-type: none"> ・「ふたばサロン」において年4回出前講座を実施。 ・「レインボー」において年4回出前講座を実施。 ・「ハッピークラブ」において年4回出前講座を実施。 ・「岩田ストレッチ会」において年4回出前講座を実施。 ・「中岩田元気会」において年2回体力測定や出前講座を実施。 ・「のんほい」の集まりに月1回参加。企画相談に対応。 ・「東岩田長寿会」において年3回出前講座を実施。 ・「壮健会」において年2回出前講座を実施。 ・「春日クラブ」において出前講座を実施。
尽誠苑	<ul style="list-style-type: none"> ・「たんぽぽクラブ」の集まりに年1回参加。 ・「くるりん」の集まりに年1回参加。 ・「二川クラブ」の集まりに年1回参加。

【中部地区】

地域包括支援センター	内容
中央	<ul style="list-style-type: none"> ・「あさひ元気会」の集まりに年1回参加。コロナ禍での活動再開に向けた相談対応。 以下の活動団体に対し、緊急事態宣言期間中にポスティングを実施 ・「東田元気かい」の集まりに年2回参加。出前講座を実施。 ・「ほほえみ会」の集まりに年3回参加。出前講座を実施。 ・「らく楽クラブ」の集まりに年4回参加。出前講座を実施。 ・「みずほ会」の集まりに年1回参加。 ・「平成旭会」の集まりに年1回参加。出前講座を実施。
みのり	<ul style="list-style-type: none"> ・「なごやかサロン」の集まりに年2回参加。 ・「和の会」の集まりに年1回参加。 ・「レインボークラブ」の集まりに年2回参加。 ・「おせっ会」の集まりに年6回参加。 ・「やっちゃんカフェ」の集まりに1～2か月に1回参加。 ・「すずや」の集まりに1～2か月に1回参加。 ・「お楽しみ会」の集まりに1～2か月に1回参加。
コープ豊橋中央	<ul style="list-style-type: none"> ・「ふれあいサロン吉田」において年2回出前講座を実施。 ・「若竹会」において年2回出前講座を実施。 ・「ほほえみ会」の集まりに年2回参加。出前講座を実施。 ・「新笑会」の集まりに年1回参加。 ・「えんがわ」の集まりに週1回参加。 ・「向山東町わ会」において年2回出前講座を実施。 ・「しゃべらまい会」において年1回出前講座を実施。
アースサポート豊橋駅西	<ul style="list-style-type: none"> ・「花田サロン会」に対し年2回電話にて状況確認。
ベルヴェールハイツ	<ul style="list-style-type: none"> ・「おしゃべりクラブ」の集まりに年2回参加。 ・「吉川男女の会」において年2回出前講座を実施。企画相談に対応。 ・「とまり木カフェ」の集まりに月1回参加。
ふくろう	<ul style="list-style-type: none"> ・「八町ほっこり」の集まりに年6回参加。企画相談に対応。
真寿苑	<ul style="list-style-type: none"> ・「みんなの実家」において月1回出前講座を実施、企画相談に対応。 ・「はまぐり会」の集まりに月1回参加。 ・「キラキラ青竹会」において月1回出前講座を実施、企画相談に対応。 ・「PPK」の活動相談に対応。 ・「みんなの広場」に対し半年に1回活動状況を確認。

【南部地区】

地域包括支援センター	内容
南部	<ul style="list-style-type: none"> ・「大清水ささえあいの会」の集まりに年4回参加。 ・「彩幸クラブ」に今後の開催についての手紙を配付。 ・「ほのぼのクラブ」に今後の開催についての手紙を配付。 ・「もとまち集いカフェ」の集まりに年11回参加。企画の相談対応。 ・「大清水校区見守りの会」の集まりに年3回参加。出前講座を実施。 ・「うえたひだまりの会」において年3回出前講座を実施。 ・「しあわせクラブ」に介護予防リーフレットを配付。 ・「新植田住宅の会」に介護予防リーフレットを配付。 ・「ひこぼえ」の集まりに年3回参加。出前講座を実施。 ・「大崎ゆたかクラブ」において年2回出前講座を実施。 ・「船寿クラブ」において年2回出前講座を実施。 ・「絆サロン」において年2回出前講座を実施。介護予防リーフレットを配付。 ・「あすなろ」に介護予防リーフレットを配付。 ・「健幸倶楽部」に介護予防リーフレットを配付。 ・「生き生きクラブ」に介護予防リーフレットを配付。 ・「シニア体操」の集まりに年1回参加。 ・「ちいきカフェたけのこ」の企画相談に年8回対応。 ・緊急事態宣言解除後も随時、活動の場に参加、出前講座を実施。
作楽荘	<ul style="list-style-type: none"> ・「鉄山カフェ」において年1回出前講座を実施。
弥生王寿園	<ul style="list-style-type: none"> ・「ひなたぼっこ」において年1回出前講座を実施。
福祉村	<ul style="list-style-type: none"> ・「さくらの会」コロナ禍での活動再開に向けた相談対応。役員会へ参加。 ・「元気会」の集まりに年2回参加。出前講座を実施。 ・「ひだまりの会」コロナ禍での活動再開に向けた相談対応。役員へアンケートを実施。 ・「あしの会」年3回活動状況について電話にて確認。 ・「楽笑会」年3回活動状況について電話にて確認。 ・「しらかば会サロン」年3回活動状況について電話にて確認。
彩幸	<ul style="list-style-type: none"> ・「天津よりみち会」に対し年5回、コロナ禍での活動再開・予防方法について話し合いを実施。 ・「よってかまいか」に対し毎月、コロナ禍での活動再開支援、企画の相談対応。出前講座を実施。

(2) 生活支援コーディネーター及び支え合い活動者による定例会議の開催（適宜市も参加）

開催日：令和2年7月29日、8月19日、9月9日、9月23日、10月14日、10月28日、
11月25日、12月23日、1月27日、2月24日、3月24日

場 所：豊橋市役所

内容等：支え合い活動者交流会の企画や支え合い活動の周知・立ち上げ応援等の活動方針を協議することなどを目的として開催した。

(3) お互いさまのまちづくりネットワークの運営（市）

市内の支え合い活動団体の状況を把握するとともに、団体相互のネットワーク化やお互いさまのまちづくり協議会との連携体制を構築するため、登録制度を運営した。令和2年度は、9団体が新たに追加され、合計で36団体の登録となった。登録団体向けに、市やお互いさまのまちづくり協議会からの情報提供や、市ホームページ等での活動紹介を実施した。

Ⅲ 総括

1 総合評価

今年度は2箇所の新たな支え合い活動が創出され、計画期間中の支え合い活動創出数の合計は44となった。コロナ禍が大きく影響したことで、昨年度に比べ創出数は大幅に減少し、お互いさまのまちづくりアクションプランで掲げる、支え合い活動50団体創出の目標には届かなかった。

コロナ禍により、支え合い活動の基礎となる「人と人とのつながり」が大きく制限される状況となったことで、各種取り組みも大幅に縮小・自粛を余儀なくされた。大きな制約を受ける中で、お互いさまのまちづくりが停滞しないよう、今できることを確実に実行できたと認識している。

認知度向上に関しては、人数制限のある研修会やZoomを活用した各種会議への出席、チラシやパンフレットのポスティングなど、新しい生活様式に順応した手法を活用した周知活動に努めた。自粛生活が続く中、広く周知することが困難な状況ではあったが、お互いさまのまちづくりの重要性を着実に広めることができた。

担い手創出に関しては、活動者で構成する「お互いさま広げ隊」が「支え合い活動者交流会」の開催を通じて、活動の担い手を発掘した。「まちの居場所活動」「助け合い活動」「多世代交流カフェ・認知症カフェ」の3ブースに分かれることで、参加者の希望に応じた意見交換を行うことができ、新たな担い手の一層の意識向上に繋がった。

立ち上げ応援については、地域包括支援センターによる立ち上げ相談への対応のほか、新たな試みとして生活支援コーディネーターと支え合い活動者による、立ち上げ希望者を対象としたワークショップの開催など、より現場に根差した支援ができた。また、支え合い活動参加者保険の創設により、活動者がより安心して団体を運営できる基盤整備ができた。

活動安定化に関しては、多くの地域包括支援センターが定期的に支え合い活動に参加し、ケースに応じて助言を行うことで、活動継続を下支えしている。併せて、お互いさまのまちづくりネットワーク登録団体の活動をホームページでPRすることで、それぞれの支え合い活動の魅力を伝え、継続性の確保へとつなげることができた。

全体として今年度は、コロナ禍による様々な制限下ではあったが、新しい生活様式に順応しながら、各自ができることを確実に進めることで、お互いさまのまちづくりの今後の発展につなげられたと認識している。

2 今後の展開

来年度は「第2期お互いさまのまちづくりアクションプラン」の初年度となり、目標の支え合い活動55団体創出に向け、新たな取り組みをスタートさせることとなる。引き続きコロナ

禍による制限下ではあるが、新しい生活様式に一層順応しながら、目標達成に向けた取り組みを確実に推進することで、持続可能な地域づくりに努め、SDGsの推進にもつなげることをとする。